

「現代GPシンポジウム キャリア教育の今、そしてこれから…」を開催 現代GP「科学的思考力と表現力で築く『私の履歴書』」事業

現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）の「実践的総合キャリア教育の推進」として採択された、「科学的思考力と表現力で築く『私の履歴書』」事業の3年間の総括として、「現代GPシンポジウム キャリア教育の今、そしてこれから…」が2月23日に本学で開催されました。シンポジウムの開会挨拶では、羽入佐和子学長及び文部科学省高等教育局専門教育課課長 澤川和宏氏による挨拶がありました。

この現代GPは、学生の職業に対する意識を促し、目的を持った授業カリキュラムの設計、積極的な実行力を身につけることを目的としたプログラムであり、本学では、「表現力」と「科学的思考力」の強化をキャリア教育の理念として取り上げ、これら2つの力を伸ばすために、キャリア関連新規授業を開講、さらに、新たな取組として「キャリアレポート放送局」と「キャリアカフェ」を設置しました。

今回のシンポジウムは、第1部に、平成18年度及び平成19年度に「実践的総合キャリア教育の推進」として採択された63大学等の協力により、「現代GPキャリア教育調査」のアンケートを実施した結果を踏まえ、各大学等の同プログラムの特色・機能性をとりまとめた冊子の配付とその発表、これに加え、立命館大学 加藤敏明氏による基調講演「なぜ、今、キャリア教育なのか。原点に立ち返る」の講話が行われました。第2部では、法政大学・一橋大学・筑波大学・お

茶の水女子大学による学生を交えたGP成果発表があり、第3部は「これからのキャリア教育」をテーマに5大学の教員が登壇し、シンポジウム参加者を交えたパネルディスカッションが行われ、参加者のキャリア教育への意識がより高まった場となりました。



羽入佐和子学長



文部科学省高等教育局専門教育課 澤川和宏氏

